

OECD生徒の学習到達度調査(PISA2012) 問題解決能力のポイント

調査概要

- PISA調査は、15歳児を対象に、知識や技能を実生活の様々な場面で直面する課題にどの程度活用できるかを評価
- PISA2012では、数学的リテラシー、読解力、科学的リテラシーに加え、国際オプションとして、デジタル数学的リテラシー、デジタル読解力、問題解決能力のコンピュータ使用型調査を実施(問題解決能力以外の調査結果は2013年12月に公表)
- コンピュータ使用型の問題解決能力の調査を今回初めて実施(PISA2003で筆記型の問題解決能力の調査を行っているが、枠組み及び調査実施形態が異なることに加え、同一問題が全く含まれていないため、直接比較できない)
- PISA2012に参加した65か国・地域、約51万人のうち、問題解決能力の調査には44か国・地域が参加。我が国では、PISA2012に参加した191校の高等学校、中等教育学校後期課程、高等専門学校の1年生約6,400人のうち、コンピュータ使用型調査を実施するための要件をクリアした181校、約6,300人が参加
(2012年6、7月に実施)

結果概要

- 我が国の問題解決能力の平均得点は552点であり、問題解決能力調査に参加したOECD加盟国(28か国)中、第2位
- 習熟度レベル別では、問題解決能力調査に参加した全参加国・地域(44か国・地域)中、レベル1以下の下位層の割合は2番目に少なく、レベル5以上の上位層の割合は3番目に多い

得点	順位
552点	2位／28か国(OECD加盟国) 3位／44か国・地域(全参加国・地域)

※得点は、OECD加盟国の生徒の平均得点が500点になるよう換算

国際比較

■ OECD加盟国(28か国)中、OECD平均得点より上位の国

	国名	平均得点
1	韓国	561点
2	日本	552点
3	カナダ	526点
4	オーストラリア	523点
5	フィンランド	523点
6	イングランド	517点
7	エストニア	515点
8	フランス	511点
9	オランダ	511点
10	イタリア	510点
11	チェコ	509点
12	ドイツ	509点
13	アメリカ	508点
14	ベルギー	508点
15	オーストリア	506点
16	ノルウェー	503点
OECD平均		500点

■ 全参加国・地域(44か国・地域)中、OECD平均得点より上位の国・地域

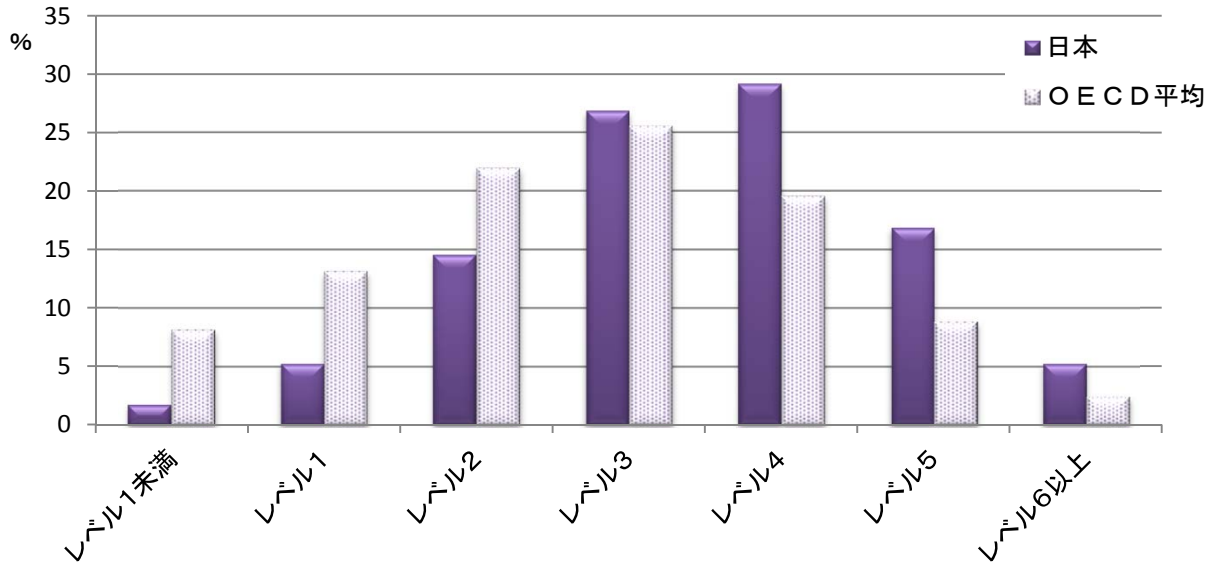
	国名	平均得点		国名	平均得点
1	シンガポール	562点	12	エストニア	515点
2	韓国	561点	13	フランス	511点
3	日本	552点	14	オランダ	511点
4	マカオ	540点	15	イタリア	510点
5	香港	540点	16	チェコ	509点
6	上海	536点	17	ドイツ	509点
7	台湾	534点	18	アメリカ	508点
8	カナダ	526点	19	ベルギー	508点
9	オーストラリア	523点	20	オーストリア	506点
10	フィンランド	523点	21	ノルウェー	503点
11	イングランド	517点	OECD平均		500点

※■は非OECD加盟国

習熟度レベル別割合

- OECD平均に比べ、レベル1以下の下位層の生徒の割合が少なく、レベル5以上の上位層の生徒の割合が多い
- レベル1以下の下位層の割合は、韓国に次いで2番目に少なく、レベル5以上の上位層の割合は、シンガポール、韓国に次いで3番目に多い

■ 我が国における習熟度レベル別生徒の割合



■ レベル2を基準とする習熟度レベル別生徒の割合

※ 習熟度レベル2以上の生徒の割合が多い順に、OECD平均より多い国・地域までを掲載

